

日本海洋学会 2018 年度第 6 回幹事会議事録

日時：2019 年 3 月 29 日（金）13：30～17：40

場所：東京大学本郷キャンパス理学部 1 号館 739 号室

出席者：日比谷会長、神田副会長、安藤、石坂、伊藤、市川、梅澤、江淵、乙坂、小埜、帰山、川合、北出、斎藤、高橋、東塚、西部、三角、安中、山田、吉田、事務局（毎日学術フォーラム：平坂）

1. 議事録（案）承認（北出幹事）

第 5 回幹事会の議事録（案）について確認し、承認された。

2. 審議事項

(1) 入退会について（東塚幹事）

2018 年 12 月～2019 年 1 月の退会者（7 名）と入会者（7 名）を承認した。2019 年 1 月末の会員数は、1,586 名。

(2) シンポジウムの後援・協賛等について（東塚幹事）

後援・協賛等について 3 件の依頼があり、承認された。

(3) 募集・推薦等の依頼について（東塚幹事）

公募・推薦について 6 件、シンポジウム・講演等について 6 件、その他 3 件の依頼があり、学会メーリングリストにて配信した旨、報告があった。

(4) 軍事研究について（東塚幹事）

他の学会の動向、および軍事研究の公募の概要について紹介され、これに基づき議論を行った。何らかの形で回答する必要があることが確認され、引き続き情報を集めて議論することとなった。

(5) 受賞記念講演の座長について（東塚幹事）

学会賞の座長 1 名、岡田賞の座長 2 名が選出され、評議員会に推薦することが承認された。

(6) 選挙細則の改正について（安中幹事）

選挙細則における会員名簿に関する記載について、改正案が提案され、承認された。

(7) JOS ニュースレター編集員の交代について（安藤幹事）

田中祐志会員に代わり、中田薫会員が推薦され、承認された。

(8) 海洋観測ガイドライン編集委員会 2019 年度委員について (小笠幹事)

新規に 8 名が推薦され、承認された。3 名が継続して委員を務めるが移行期間として 2019 年度のみ継続であることが報告され、承認された。

(9) 海洋環境委員会 2019 年度委員について (小笠幹事)

委員 6 名のうち 4 名が交替する旨提案され、承認された。

(10) その他

・シンポジウム等の開催について (山田幹事)

2019 年度秋大会におけるシンポジウム・ナイトセッション・イベント (シンポジウム等) の開催案内について審議し、イベントの記載と会場の使用可否の大会実行委員会への確認をしたのちメール審議に回すこととなった。学会から大会実行委員会への 100 万円の送金が提案され、承認された。プログラム編成委員会について議論され、担当幹事がプログラム編成委員長と構成員の必要性を実行委員会に問い合わせることとなった。

・JPGU 環境災害担当委員について (小笠幹事)

小笠幹事が幹事退任後も委員を担当するが、次年度幹事会から北出幹事が委員に加わることが承認された。

3. 報告事項

(1) 会長

- ・マスタープラン提案書が 3 月 29 日締め切り、9～10 月にヒアリングがある事、海洋の社会への普及アウトリーチとして、海洋リテラシー調査と科学技術館の特別展に関する事項、海洋生物学会のシンポジウム開催について報告された。
- ・堀部名誉会員、ムンク博士、ブロッカー博士のご逝去について、報告された。
- ・次年度に開催される研究集会 SCOR、海洋学会、JpGU2019、IUGG、AOGS について紹介された。
- ・学会からの表彰推薦として、海洋立国表彰、西田賞等への推薦を積極的に行っている旨報告があった。

(2) 副会長

次期幹事の分担について紹介・確認された。

(3) 庶務 (東塚幹事)

- ・学会幹事の分担業務内容について、紹介・確認された。
- ・JpGU のニューズレターは、今年より JpGU の会員のみ配布されることになると報告された。

(4) 会計 (齊藤幹事)

例年に比べ大きな支出を要する企画がある場合は早めに連絡してほしい旨、報告された。

(5) 研究発表 (山田幹事)

2018 年度秋季大会と収支報告、2019 年度秋季大会以降の予定、クレジットカード決済会社の変更について報告された。また SCOR との共同シンポジウムの予定について、安藤幹事より紹介があった。

(6) 選挙 (安中幹事)

2019、2020 年度幹事選挙について、開票結果が報告された。

(7) 編集

1) JO (石坂編集委員長)

①JO の発行状況 (Vol. 72 (1) ~Vol. 75(2))、②JO 投稿・受理状況、③高被引用文献について報告された。

2) 海の研究 (市川編集委員長)

①前回幹事会 (1 月 7 日) 以降の出版状況、②2019 年度 (3 月以降) 出版予定、③論文原稿投稿状況、④転載許諾申請、⑤J-STAGE での公開状況、⑥複写複製および転載複製利用について学術著作権協会への委託手続きが完了したこと、について報告があった。

3) JOS ニュースレター (安藤編集委員長)

①JOS ニュースレター発行状況 (vol.8(4))、②JOS ニュースレター発行準備状況 (vol.9(1)) について報告された。

(8) 広報委員会 (安中幹事)

2019 年度委員、2019 年度予算、JpGU 学会ブース・ショートセミナーの準備状況、科学技術館 2019 春特別展「知れば知るほど深くなる！? もっと知りたい! 海のこと」(3 月 21 日~5 月 6 日) への協力について、報告された。

(9) 海洋環境委員会 (小埜幹事)

2018 年度青い海助成基金、2019 年度事業募集 (1 月 11 日より公開)、次年度から災害時の初期情報収集へ対応予定であることについて報告された。沿岸海洋関連学会協議会に海洋環境委員会から委員を選出してほしいとの連絡があった旨報告された。

(10) 海洋観測ガイドライン編集委員会 (小笠幹事)

ガイドライン和文第4版と英文第3版が刊行済みで2019年度に英文第4版を刊行予定であること、新旧引き継ぎ予定、2019年度予算申請の予定について、報告された。

(11) 海洋環境問題研究会 (小笠幹事)

沿岸環境調査マニュアルの再発行予定について検討中である旨報告された。

(12) 教育問題研究会 (伊藤幹事)

2018年度活動報告、2019年度活動計画について報告された。

(13) ブレークスルー研究会 (東塚幹事)

2018年9月に北大・おしよろ丸を使って実施した「船の上で海を学ぼう2018」の報告会を、JpGU2019の会場にてクラウドファンディング出資者を対象に行う旨報告された。

(15) 海洋生物学研究会 (伊藤幹事)

会員動向、副会長の就任、シンポジウム開催(3月23~24日)について報告された。

(16) 日本地球惑星科学連合 (川合幹事)

JpGU2019の進捗状況、JpGU2019会期中の海洋学会関連の会議の日程について報告された。加えて、JpGU2019における発表形式の変更、JpGU2021の開催予定地についての補足説明がなされた。

(17) 日本海洋科学振興財団 (日比谷会長)

全国の練習船・研究船の仕様が取りまとめられたので学会ホームページにリンクを張ることが報告され、財団の現況と今後の課題について紹介された。

(18) 震災対応 (小笠幹事)

関連のシンポジウムが3月29日開催されている旨報告された。

(19) 水産・海洋科学研究連絡協議会 (伊藤幹事)

日本海洋学会が主として提案する大型研究計画と日本水産学会が提案する大型研究計画について、連携で提案することが認められた旨、報告があった。

また、日比谷会長より、日本気象学会、今後の宇宙開発体制のあり方に関するタスクフォース会合(リモートセンシング関連学会連合)が提案する大型研究計画について、日本海洋学会も連携学会として提案することが報告された。

(20) 若手支援 (神田副会長)

若手海外渡航援助、若手集会助成、若手懇談会、就職支援について報告された。

(21) 一家に一枚ポスター (伊藤幹事)

Web 版の電子ポスターについて改訂を進めているが、まだ出来上がっていないため新年度も引き続き進める旨報告された。

(22) その他

・国際海洋リテラシー調査の開始について (市川幹事)

国際海洋リテラシー調査第4版について、経緯と参加者数について報告された。

・男女共同参画共同連絡会 (安中幹事)

連絡会運営会議が3月27日に開催され、前回の幹事会で承認した声明文・要望書について、正会員50団体、オブザーバー会員20団体の賛同を得て提出した旨、報告された。

・最後に日比谷会長から挨拶があった。

以上

次回幹事会

日時：5月 (未定)

場所：未定